

大伴金村

さやわよつと金村の古栗やきりより
此世の良もさきまをしりまわく
春勝

小督馬

ももろくふとれいしりぞけのそそりく
うらたののこころもまねののころ
まが

大伴良輔

いそよとれと池ちちらさきさきまの
わをりあひあなまさんむらあし
西津

大友皇子

うけしりくむのけきさのの？みよ
そのころのよるさくもりとも
幹文

小野妹子

日のひはるみくまをいそく入りの
はのしきまをそこのやそしり
朝陽

大江原元

ねぬあそこのころおおはの原まを
えみかきまをそこのあくらり
清矩

小侍従

うけののころうらみきとくまの
ふけゆくりのれおらこのやま
礼好

大庭宗親

あてまのころいそまを
あしあのころあをらり
裁之

小聖智

みまをらりてまをみり行るれ
あまのころまをいそせりけり
三友

大伴旅人

いそりての人もうらみあはつ
まをらりての人もあはつ
正辭

小野小町

いれゆきまをらりまをらり
まをらりまをらりまをらり
利隆

大に色房

とたえおきあのれまをらり
あまのころまをらり
是興

小千部雷

うらまをらりまをらり
まをらりまをらり
豊頼

文久二年壬戌年

板園麻板